寝屋川市立友呂岐中学校
3年生学年だより

150カラット

令和5年11月18日
第21号

みんなで創り上げた文化祭！！

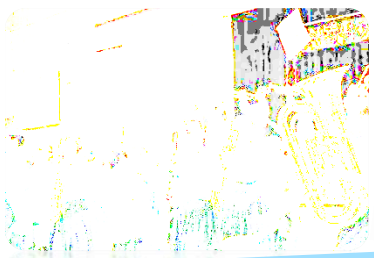
先日配布した学年通信２０号に続き、文化祭についてお伝えします。

今年の３年生の劇に出演する役者は、事前に各クラスで希望する人を募集しました。中学生最後の文化祭ということもあり、学年の中から２６人が自ら希望してくれました。役者は、当日体育館の大きな舞台に立ってみんなの代表者として演技するので、希望者全員、役者のオーディションを実施しました。オーディションでは、劇中でコナンが話す定番のセリフを演技の課題としました。ただ課題のセリフを話すのではなく、体育館で劇をするのに最も必要とされる「声の大きさ」、「聞き取りやすさ」、そして今回の題目である名探偵コナンは、多くの人が知っている作品なので、その役柄に合った表現ができるかということを問う「感情表現の豊かさ」の３つの観点で審査しました。オーディション当日は、学年の先生に加えて教頭先生を入れた１１人の先生の前で一人ずつ演技をしました。オーディションの様子を見ていると、緊張感のある部屋の中でしたが、２６人全員が一生懸命に全力で演技をしていました。短い練習期間の中で、コナンの話し方や身振り手振りなどを研究しながら、一人ひとりがこの日のために頑張ってきたんだなと感じ取れるような演技だったので、とても感激しました。オーディションの後には、「緊張した」や「セリフを思うように話せなかった」などの声も聴きましたが、その後には全員が「でもやり切った」と言っていたのでとても良かったです。その頑張った姿に先生たちも感銘を受け、見事全員合格となりました。役柄については事前に希望する役のアンケートをとり、重複した役については審査結果の高い順に決定しました。

文化祭準備期間に入り、いよいよ劇に向けての練習が始まりました。まずは立ち位置や場面転換の練習から始まりました。セリフが細かく分けられているので、立ち位置や場面転換もそれに伴い細かくなり、覚えるのにかなり苦戦していました。ですが、一人ひとりが他人事とせず、立ち位置などが分からず困っている人がいると教えてあげるなど、みんなで助け合って取り組む姿が見受けられました。劇の様子などをお互いに観覧し合い、声の大きさや話すスピード、セリフの話し方などをアドバイスし、みんなで質の高い劇を目指している様子が伺えました。

いよいよ迎えた文化祭当日！最初は展示見学の部から始まり、その後体育館にて舞台発表の部がおこなわれました。舞台発表の部のオープニングを飾ったのは毎年恒例の吹奏楽部による演奏でした。その後は生徒会のクイズ大会があり、各学年の発表と続きました。そして３年生の出番となり、「背景・大道具」、「小道具」、「衣装・音響・ICT」が道具の運搬やそれぞれの担当場所の準備にあたりました。道具の運搬や背景の準備はみんなで協力して、舞台上で声を掛け合いながら準備をしていました。迎えた本番では、最初は役者全員がとても緊張した顔をしていましたが、少し経つと緊張していた顔がほぐれ、全力で頑張っていました。出番が終わると、みんなとても良い表情をしていて「楽しかった」や「やり切った」という声が聞こえ、楽しそうに話していました。

みんなで創り上げた文化祭はどうでしたか？一人ひとりが一つの目標に向かって色々な場所で頑張ってくれました。それぞれの部門でうまくいかなかったことや悩んだこともあったと思いますが、その度にみんなで助け合って取り組む姿が見受けられ本当に素晴らしいと感じました。この４０期生一丸となって取り組んだ文化祭で得たものを無駄にせず、これから控えている受験に向けてもみんなで頑張ってほしいと思います。



名探偵コナン
「暗闇に聞こえし鳴き声」

真実はいつもひとつ!!